

事例検討をしよう part2

～ ③指導・支援の検討～

福島県特別支援教育センター



1

基本的な進め方(例)

話し合いの目的・主訴の確認

事前の情報収集(実態把握シートや行動観察より)

①事実を整理	気になる行動(主訴)を共有し、対象となる子どもの情報を整理する
②なぜ?を考える	子どもの思いや考え、認知特性や学習環境などから、困難さの背景・要因を考える
③指導・支援の検討 役割分担	子どもの得意を生かし、苦手を支える 指導・支援のアイデアを出し合う ⇒役割分担をする
④実施・評価・改善	指導・支援を実施し、その評価をしながら必要に応じて改善する

2

③指導・支援の検討 役割分担

子どもの得意を生かし、苦手を支える
指導・支援のアイデアを出し合う
⇒役割分担をする

Part2の目的

困難さの背景・要因(認知特性・環境)を踏まえて
指導・支援を考える→決定・役割分担をする

○チームで多様なアイデアを出し合いましょう

○指導・支援を決定し、役割分担を行いましょう

3

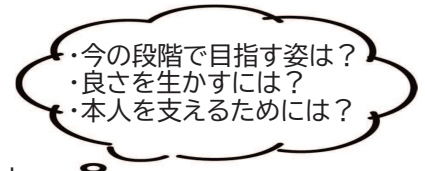
③指導・支援の検討

認知特性や学習環境から、指導・支援のアイデアを出す

【話し合いのポイント】

- ・環境(ひと・もの・こと)を調整する。
- ・本人の強み・得意を生かす。
- ・「～は無理だから」「～しなければならないから」

の考えは一旦置いて、できることやできそうなことを考える。



事例検討ワークシート

主訴	
苦手(困難さの背景・要因)	得意
学びにくい学習環境(困難さの背景・要因)	学びやすい学習環境
指導・支援のアイデア(得意な力を生かす指導の工夫、苦手さを補う指導上の配慮等)	



4

③指導・支援の検討

指導・支援のアイデアから、実践したいことを確認・分担する

【話し合いのポイント】

・まず取り組んでみたいことや取り組みそうなことを決める。

・いつどこで誰が担うか確認する。

(担任だけでなく、チームで指導・支援の役割を担うように話し合う。)

・チームで支えるには？
・子どもをどう支える？



主訴	
苦手（困難さの背景・要因）	得意
学びにくい学習環境（困難さの背景・要因）	学びやすい学習環境
指導・支援のアイデア（得意な力を生かす指導の工夫、苦手で困る場面への配慮等）	



5

子どもの行動を

「どう 見るか

（事実を整理し、背景・要因を考える）」が

「どう かかわるか

（認知特性や強み弱みを踏まえた指導・支援）」

につながります

教師のかかわりにより子どもの行動変容へ



生徒指導・学力向上など
教育課題の解決につながる

・次回は〇月〇日
実践を評価・改善しよう



6

生活・学びの主体は本人です。

周囲の大人（教師や保護者等）が一生懸命になると、
本人抜きで話が進んでしまうこともあります。

本人はどうしたいと思っているか、その思いを確認しましょう。

Nothing about us without us!

障害者権利条約 2007年署名、2014年批准

私たちのことを、私たち抜きに決めないで！

対話を重ねることで本人の思いに近づきます



7



8